

9月6日 2学期始業式 チャレンジする2学期
できること、できそうなことはどんどんやろう

今日は2学期の始業式です。夏休みの生活から、規律ある学校生活へ気持ちを切り替え、新しく始まる学期への希望と自覚をもつための式です。

校長先生からは、「チャレンジする2学期 できること、できそうなことはどんどんやろう。」という話をします。



この夏は、新型コロナウイルスの感染が広がり、不安な日々が続きました。そのため、調布市では皆さんの命と健康を守るために夏休みが延長されました。また、明日から金曜日までは、オンラインを使った学習となります。皆さんは、毎日の健康観察、マスクを付ける、手洗いをするなどの対策をこれからもしっかりと行っていきましょう。

さて、不安なこともあった夏休みでしたが、東京2020オリンピック・パラリンピック大会での選手の活躍に感動が続いた日々でもありました。皆さんは、どのような競技が心に残っていますか。

校長先生はパラリンピックで活躍する選手の姿を見て、チャレンジすることの素晴らしさを強く感じました。生まれつき手が短いですとか、病気のために、目がだんだん見えなくなってきた、仕事上の事故で、腕を切断してしまった、など出場していた選手の障害は様々ですが、どの選手もチャレンジをして自分の可能性を伸ばし、できることを増やして活躍していました。本当にすごいなあと思いました。

チャレンジと言えば、北ノ台小学校の先生方も、この夏休みの間にすごいチャレンジをしていたんですよ。それは、明日から始まるオンライン授業の準備です。今までは、教室で目の前にいる子供たちに黒板を使って授業をするのが当たり前でしたが、明日からのオンライン授業ではそれができません。ですから先生方は、タブレットを使って授業の動画を撮影したり、学習する内容を分かりやすく説明するためにプレゼンテーションを作ったりしました。

すべてが、今までにやったことのない新たなチャレンジでした。すごいですよね。明日からのオンラインを使った学習は、必ずしもスムーズにいかないこともあるかもしれませんが、先生方が一生懸命チャレンジして準備をした授業ですので、皆さんもしっかり学習してくださいね。



そして、皆さんもこの2学期は、どんなことでもよいので、チャレンジする2学期にしてほしいと思います。授業で手を挙げて発言する、話したことがない友達に話しかける、班長や代表に立候補する、先生のお手伝いをする、どんなことでもよいので、「できる！やれる！と思ったことには、どんどんチャレンジしてってください。先生がやろうと思っていること、友達の力になれるようなことに気付いたら、「やります！」と声を上げてやってみましょう。そうすれば、どんどん成長していけるし、将来大活躍できる力を付けていきますよ。

チャレンジをすれば失敗することもあるかもしれませんが、しかし、チャレンジをしなければ失敗はしないけれど、できるようにもならないし、成長することもないですからね。

今日は、2学期の始業式です。これから始まる学校生活、感染症の対策はしっかりしながらもチャレンジする2学期にしましょう、という話をしました。お話を終わります。